

近畿都市学会報

第207号

2019年9月10日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■近畿都市学会事務局宛先

〒530-0001大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階 大阪市立大学大学院 創造
都市研究科 小長谷一之研究室内 近畿都市学会
事務局 (担当)庶務委員長:小長谷一之

Eメール: info@kintoshi.org

ホームページ: <http://www.kintoshi.org/>

◎会費納入先: ゆうちょ銀行振替口座 0099
0-7-86235 近畿都市学会

◎※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送
金できます。 ゆうちょ銀行〇九九店(ゼロキ
ュウキユウ店)当座 0086235 キンキト
シカ^レツカイ

■(雑誌『都市研究』原稿のみ)近畿都市学会 編集委員会宛先(その他のニュースレター等 原稿は全て事務局提出となります)

〒558-8585大阪市住吉区杉本3丁目3-1
38 大阪市立大学大学院 文学研究科 地理学
教室 大場茂明研究室内 近畿都市学会編集委
員会 (担当)編集委員長:大場茂明

Eメール: oba@lit.osaka-cu.ac.jp

1. 2019(令和元)年度秋季大会のお知らせ(予定)

近畿都市学会の2019年度秋季大会は、以下のようにおこないます。

【日時】2019年11月24日(日) <例年と異なり日曜開催です>

【エクスカージョン(予定)】10時～、(発表(予定))13時～

**【発表会場】「Topic(富田林市きらめき創造館)」<近鉄長野線「富田林駅」から1駅
隣の「富田林西口駅」下車徒歩5分(市役所の裏)(阿倍野橋から準急便利)>
<https://www.city.tondabayashi.lg.jp/uploaded/attachment/5532.jpg>**

**【エクスカージョン】<集合>「とんだぼやし きらめきファクトリー」<近鉄長野
線「富田林駅」の駅前> <http://tonkira.jp/aboutus/#access>**

=>その後、寺内町地区を北から見学、寺内町地区の南にある発表会場に向か
う。詳細は次号。**寺内町は、大阪府内で唯一の重要伝統的建造物群保存地区。**

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~heritage/index.html>

【プログラム(予定です。)]

(1)(10時～11時45分)寺内町エクスカージョン《事前申込制》以下参照

(2)(11時45分～12時30分)昼食《事前申込制》以下参照

(3)13時より会場にて開演

(4)(13時～13時10分)会長挨拶

(5)(13時10分～14時30分)

特別講演 富田林市長 吉村善美氏「富田林/寺内町のまちづくり(仮題)」
担当課による「寺内町のまちづくり」ご説明

(6)(14時40分～17時50分)一般研究報告

(7)(18時30分～20時)懇親会《事前申込制》以下参照

★例年自治体開催である秋季大会は、今年は、大阪府下を代表する歴史まちづ
くり都市である富田林市のご協力を得て、実施することとなりました。まちづ
くりについて市長およびご担当にご講演・ご説明いただき、エクスカージョ
ンでは、寺内町のまちづくりを見て行く予定です。

★【研究報告の募集】

① 研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）、および報告する際の使用希望機器（原則としてPC用プロジェクターに限る）を明記したものを、**10月18日（金）必着で近畿都市学会事務局まで**、電子メールでお送り下さい。

② 報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**10月25日（金）必着で上記の近畿都市学会事務局まで**、基本的に電子メール（添付ファイルによる送信が望ましい）でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、電子メール添付でお送りください。

★[事前申込方法] エクスカーション、昼食、懇親会は予約等の関係がございますので、参加者希望は、原則、電子メールにて事務局（info@kintoshi.org）へ

① エクスカーションの参加の有無

② 昼食の参加の有無

③ 懇親会の参加の有無

をお知らせください。締切は**11月10日**といたします。

II. 2019（令和元）年度春季大会のご報告

近畿都市学会の2019年度春季大会は、2019年7月6日（土）に、大阪産業大学・中央キャンパス16号館で開催され、会計監査、理事会・評議員会・総会の後、会長挨拶、大阪産業大学副学長 デザイン工学部環境理工学科吉川耕司教授による講演がおこなわれました。ひきつづき、2会場で、以下の9件の一般研究報告、大会参加者による活発な討論がおこなわれました。一般研究報告の後、1F学生食堂にて懇親会が盛況のうちに開催されました。

（第1会場（3F16306 教室））

[発表1 1] 「非計画商業市街地の形成－神戸・トアウエスト地区を事例として－」松本麻里（近畿大学大学院総合理工学研究科博士後期課程）

[発表1 2] 「京阪神大都市圏における市町村別減少要因分析と政策的インプリケーション」大島博文（大阪成蹊大学マネジメント学部教授）

[発表1 3] 「高齢者の外出活動の実態と変化動向－京阪神都市圏における大規模交通実態調査を元に－」長谷川哲郎（大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程）

[発表1 4] 「サービス付き高齢者向け住宅の需要構造」山下恒夫（大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程）

[発表1 5] 「健康寿命とコミュニティ・住環境の関連性について」中谷年成（大阪府立大学工業高等専門学校）

（第2会場（3F16309 教室））

[発表2 1] 「博覧会の効果－京都西陣のジャガード織技術導入を中心に－」中原逸郎（京都楓錦会）

[発表2 2] 「大阪府大東市における地域資源の価値発現－三好長慶と飯盛城址を中心に－」小川雅司（大阪産業大学経済学部教授）

[発表2 3] 「商業集積における社会的マネジメントへの考察－静岡呉服町名店街「ランドオーナー会議」を事例に－」牛場智（静岡大学学術院人文社会科学領域経済・経営系列地域創造学環准教授）

[発表24]「大阪市福島区「野田バル」「福島バル」の開催経過からみるイベント実施の適正範囲の推定」石原肇（大阪産業大学教授）

Ⅲ. 『都市研究』第18号ふるってご投稿ください

【都市研究第18号の査読論文の公募について】

第18号の査読論文を募集いたします。**締切りは2019年10月31日とします。**執筆要項は『都市研究』の各号に掲載しておりますので、会員の皆さまのご投稿をお待ちしております。**(執筆要項は学会ホームページにも掲載しております)。**なお、『都市研究』の投稿は巻頭の編集委員会までお願いいたします。

Ⅳ. 【重要事項】会費納入のお願い！

未納分会費のある方は至急お支払いいただきますよう、お願いします。未納分などが不明な場合は、学会事務局 info@kintoshi.org までご相談ください。

Ⅴ. 【重要事項】会員管理システムへアクセスのお願い！

会員のみなさまの管理により「会員管理システム」が稼働を開始しております。

★近畿都市学会ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

のトップからも入ることのできる以下のアドレスが、入り口サイトです。

★ <https://www.mmb-sys.jp/pacmmb/USER/personal/login.aspx>

今後は、既にお知らせした【会員ID】と【パスワード】を入力して、ログインすることにより、専用ページで、ご自身の登録情報を確認、更新することができます。

最初に配布された業者の【パスワード】は複雑ですので（紛失しないうちに）、ぜひ一度、ご自身でアクセスし、ご自分の好きな【パスワード】に早めに変更をお願いいたします。

また「連絡用電子メールアドレス」など、ご入力いただきませんと今後重要なお知らせが行かない場合がございます。ぜひ一度、アクセスいただきますようお願いいたします。

※パスワードをお忘れの場合

◎連絡用eメールアドレスを登録済みの場合は、

上記の会員専用ログイン画面の「パスワードをお忘れの方はこちら」のボタンをクリックしてください。次に表示される画面で会員ID（38で始まる8桁の半角数字）と登録済みeメールアドレスを入力すると、自動的にパスワードが送信されます。

◎会員IDが不明な場合や連絡用eメールアドレスを未登録の場合は、

学会事務局 info@kintoshi.org までご相談ください。

Ⅵ. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2019年度第2回理事会は、2019年9月19日（木）に大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、2019年度秋季大会の準備、2020年度秋季大会（日本都市学会との合同開催）の準備について、『都市研究16・17合併号』の報告と『都市研究18号』の計画等について検討しました。

Ⅶ. 日本都市学会第66回大会（中四国担当、広島市で開催予定）のお知らせ 日本都市学会第67回大会（近畿担当予定）のお知らせ

日本都市学会第66回大会（2019年度）は、中四国都市学会が担当し、2019年10月25日（金）・26日（土）・27日（日）に、広島市を会場として、「地方中枢都市における課題と展望」をテーマに開催する予定です。

日本都市学会第67回大会（2020年度）は、近畿都市学会が担当し、（仮）2020年10月30日（金）・31日（土）・11月1日（日）に、尼崎市アルカイクホールを会場として、「（仮）総合産業・観光都市のまちづくり」をテーマに開催する予定です。

詳細が決まり次第ホームページに掲載してまいります。会員の皆様にはスケジュールの調整をよろしく申し上げます。

くわしくは、日本都市学会ホームページ

<http://www.toshigaku.org/>

（「都市学ドットオルグ」です）をご覧ください。

ふるってご参加ください。

Ⅷ. 2019（令和元）年度総会、及び当日の評議員会、理事会等の結果

2019年理事会・評議員会・総会において、2018年度決算、2019年度予算案や各種事業案等が承認されました。決算、予算詳細は以下。

| 近畿都市学会 2018年度決算 | | | |
|----------------------|------------|------------|-----------------------------------|
| 2018年5月1日～2019年4月30日 | | | |
| 収入の部 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 会費 | ¥1,200,000 | ¥692,000 | |
| 寄付・その他 | ¥100,200 | ¥102,002 | 同志社大補助金100,000円、BN売上、銀行利息 |
| 積立金 | ¥0 | ¥0 | |
| 前年度繰越金 | ¥1,200,241 | ¥1,200,241 | ゆうちょ¥791,500、南都¥379,838、現金¥28,903 |
| 計 | ¥2,500,441 | ¥1,994,243 | |
| 支出の部 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 日本都市学会費 | ¥550,000 | ¥506,600 | 2018年度分 4,000円×149×85% |
| 大会運営費 | ¥150,000 | ¥84,915 | 春季大会、秋季大会 |
| 会議費 | ¥10,000 | ¥0 | |
| 印刷費 | ¥700,000 | ¥68,790 | 会報第201-204号 |
| 人件費 | ¥30,000 | ¥1,500 | 発送アルバイト |
| 業務委託費 | ¥180,000 | ¥177,811 | 会員管理システム2018年度 |
| 通信費 | ¥150,000 | ¥39,832 | 発送費、ホームページ費 |
| 運搬交通費 | ¥10,000 | ¥0 | 日本都市学会理事会交通費不要 |
| 消耗品費 | ¥40,000 | ¥0 | |
| 雑費 | ¥10,000 | ¥2,858 | 振込等手数料 |
| 積立金 | ¥200,000 | ¥200,000 | 60周年記念事業 |
| 予備費 | ¥470,441 | ¥0 | |
| 次年度繰越金 | ¥0 | ¥911,937 | ゆうちょ¥776,042、現金¥135,895 |
| 計 | ¥2,500,441 | ¥1,994,243 | |

| 近畿都市学会 2019年度予算 | | | |
|----------------------|------------|-----------|-------------------------------|
| 2019年5月1日～2020年4月30日 | | | |
| 収入の部 | 予算額 | 前年度比 | 備考 |
| 会費 | ¥1,200,000 | ¥0 | |
| 寄付・その他 | ¥200 | ¥-100,000 | 銀行利息 |
| 積立金 | ¥200,000 | ¥200,000 | 60周年記念事業 |
| 前年度繰越金 | ¥911,937 | ¥-288,304 | ゆうちょ¥776,042、現金¥135,895 |
| 計 | ¥2,312,137 | ¥-188,304 | |
| 支出の部 | 予算額 | 前年度比 | 備考 |
| 日本都市学会費 | ¥550,000 | ¥0 | 年報53号（2019年度） |
| 大会運営費 | ¥150,000 | ¥0 | 春季、秋季 |
| 会議費 | ¥10,000 | ¥0 | 理事会等 |
| 印刷費 | ¥700,000 | ¥0 | 「都市研究」16/17合併号・18号、会報205～209号 |
| 人件費 | ¥30,000 | ¥0 | 発送アルバイト |
| 業務委託費 | ¥180,000 | ¥0 | 会員管理システム利用費（2019年度分） |
| 通信費 | ¥150,000 | ¥0 | 発送費、ホームページ費 |
| 運搬交通費 | ¥160,000 | ¥150,000 | 日本都市学会理事会（東京30,000円×延べ5名） |
| 消耗品費 | ¥40,000 | ¥0 | |
| 雑費 | ¥10,000 | ¥0 | |
| 積立金 | ¥0 | ¥-200,000 | |
| 予備費 | ¥332,137 | ¥-138,304 | |
| 計 | ¥2,312,137 | ¥-188,304 | |

Ⅸ. 事務局より（入会者）

宇都宮浩司（所属：神戸国際大学 専門分野：地域経済論、北米交通史）

能島裕介（所属：兵庫県立大学大学院経済学研究科博士課程、尼崎市役所。専門分野：公共政策）

■ 近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のおすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済・経営、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し

進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいませよう切に希望する次第です。

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。

※日本都市学会は地域学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費 8,000 円（日本都市学会会費 4,000 円＋近畿都市学会会費 4,000 円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費 10,000 円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。

※学生会員は、年会費 4,000 円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル
6階 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 小長谷一之研究室内 近畿都市学会
事務局

①Eメール：info@kintoshi.org

②ホームページ：<http://www.kintoshi.org>